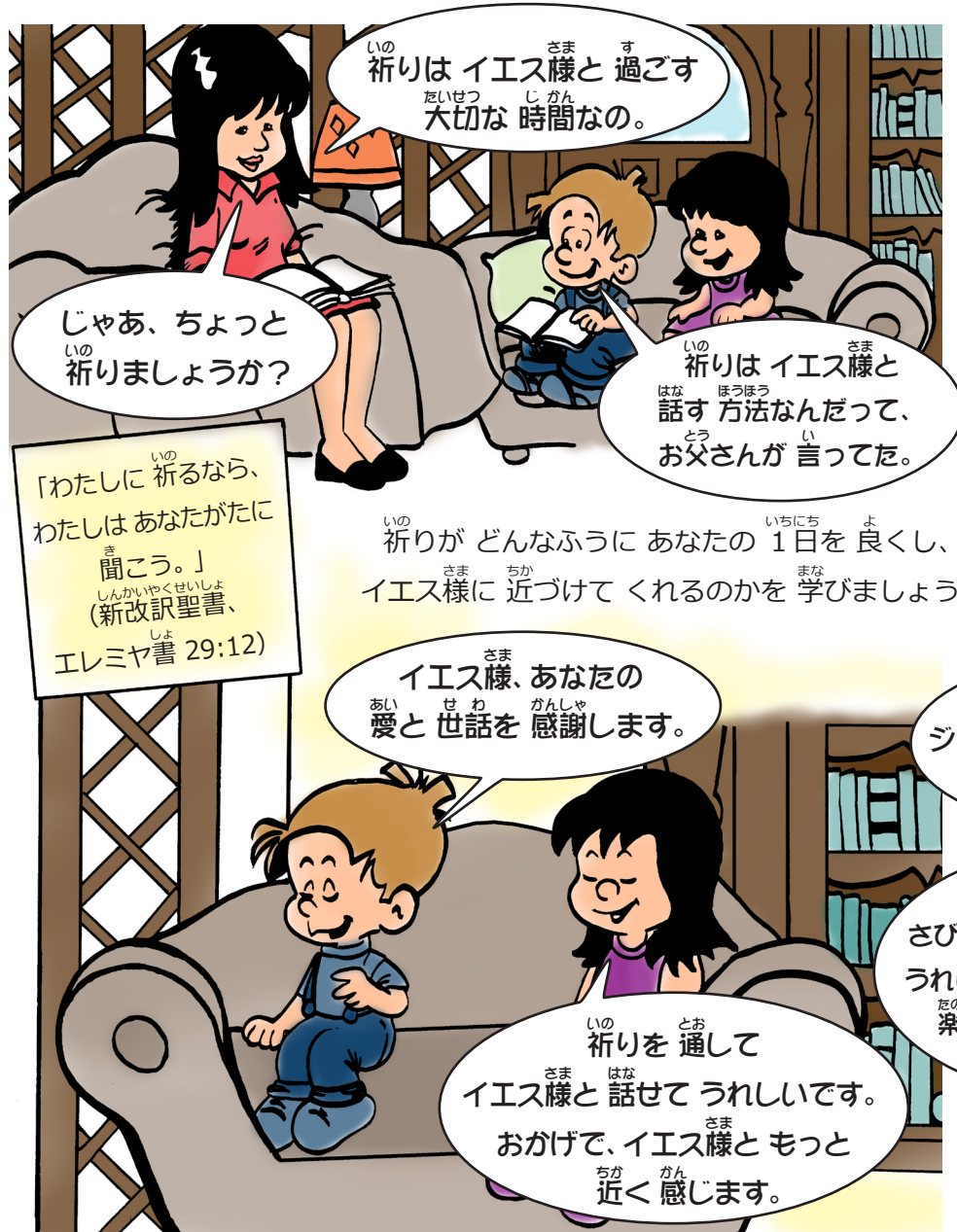
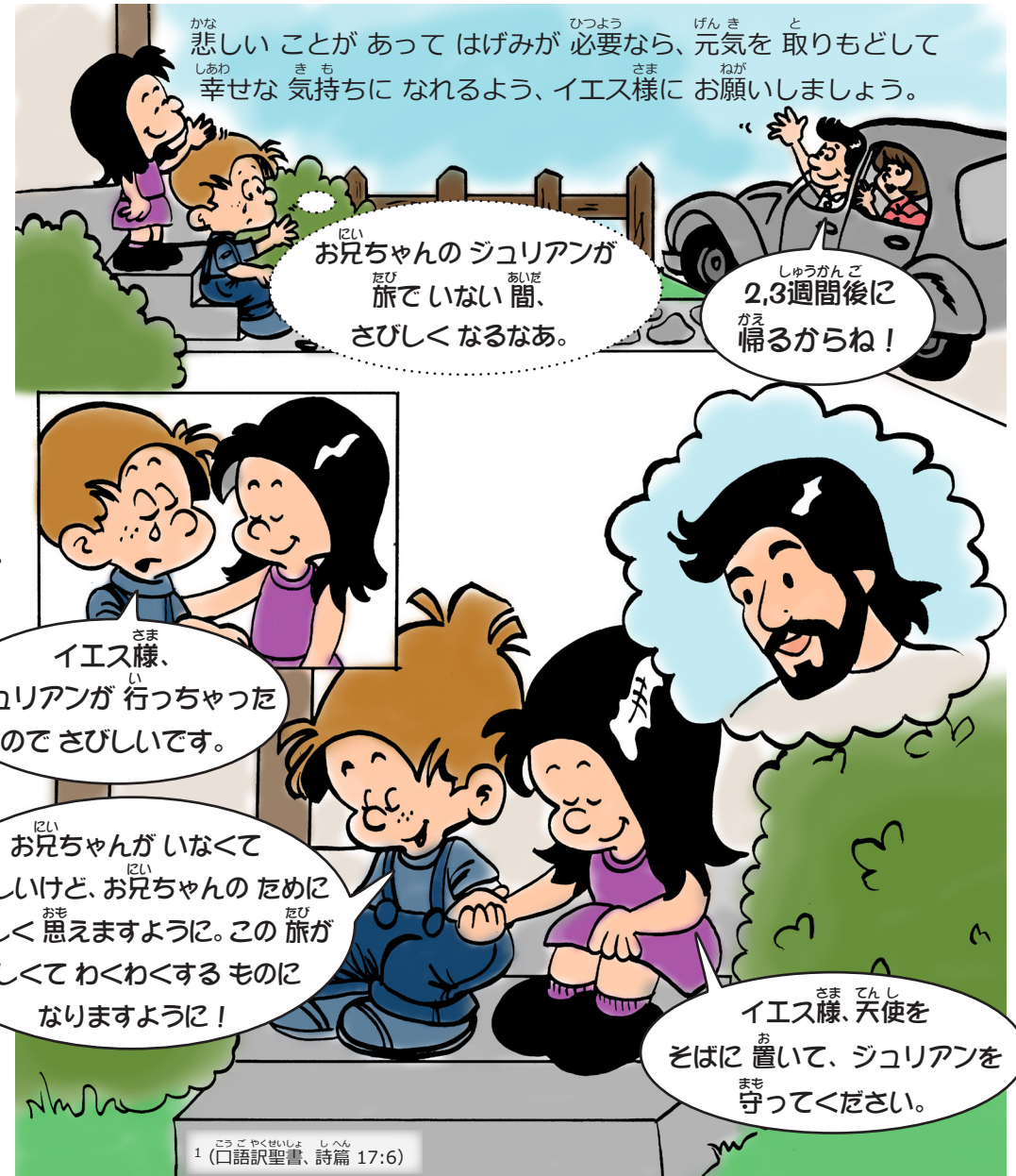


立ち止まって 祈る 時間を取ろう



いの 祈りは、なぐさめと き 希望を くれる。

「神よ、わたしは あなたに よばわります。あなたは わたしに こた 答えられます。 どうか みみ 耳を かたむけて、わたしの のべる ことを お聞きください。」¹



いの 祈りは、^よ良い ^{へん か}変化を ^お起こせるように ^{さま}イエス様に ^{ねが}お願いする ^{ほう ほう}方法。

「^き気を ^お落とさずに ^{いの}たえず ^{いの}祈らなければ ^{ならない}」²

^{おお}大きく ^{まな}なると、^{ただ}学ぶ ^{こと}ことも ^{たくさん}たくさん ^{あります}あります。正しい ^{こと}ことを ^{する}するのを ^わわすれる ^{こと}ことだ ^{って}ある ^{でしょ}う。祈 ^{いの}って ^{さま}イエス様に、^{つぎ}次は ^{ちゃん}と ^{おぼ}覚えて ^{ねが}いられる ^{よう}ように、^お願 ^いい ^{まし}ょう。

マリー、^{でん ね}電話 ^{して}るから、
もう ^{しず}ちょっと ^{しず}静かに ^{して}ね。

やれやれ！ ^{あと}後で ^{また}また
^{でん ね}電話 ^し直さなく ^{ちゃ}だわ。

ワーイ！
ミルトンが ^き木から ^{ぶら}ぶら下 ^がって
おりて ^ききた…

ミルトンは ^{わら}笑って
ヒッヒッホー！

マリー、
^{しず}静かに ^{して}って
言 ^った ^でし ^よ。

ごめんなさい！
ミルトンと ^{あそ}遊ぶ ^ののに
む ^ちゅう ^だった ^の。

^{つぎ}次は ^{ちゃん}と
^{しず}静かに ^{でき}るように、
^{さま}イエス様に ^{たす}助けて
もら ^いま ^しょう ^ね。

^{さま}イエス様、^{まわ}周りの ^{ひと}人の ^{こと}ことを
^き気に ^かける ^{よう}ように ^お母 ^{さん}さんに ^{ちゅう}注意 ^{され}たら、
^きちゃんと ^き聞いて ^{しん}従 ^えま ^す ^{よう}に。

^{あい}愛 ^{して}る ^わ、マリー。
^{ただ}正しい ^{こと}ことが ^{でき}る ^{よう}ように
^{さま}イエス様に ^{ねが}お願い ^して ^くれて、
う ^れい ^い ^わ。

いの 祈りは ^{いや}いやしを ^ももたらす。

「^{しんこう}信仰 ^{による}による ^{いの}祈りは、^や病 ^{んで}いる ^{ひと}人を ^{すく}救い、
そして、^主主は ^{その}その ^{ひと}人を ^た立ち ^あが ^らせて ^{くだ}さる。」⁴

^{びよう}ケガ ^{をし}たり ^{とき}病 ^の気 ^の時は、^{いの}祈 ^{って} ^{さま}イエス様に ^{はな}話 ^しま ^しょう。また
^{じよう}じょう ^ぶぶで ^{げん}元 ^き気に ^なれる ^{よう}ように、^{さま}イエス様が ^いいや ^して ^くだ ^さい ^ます。

インラインスケート ^{って}、
^{たの}楽しい ^なあ！

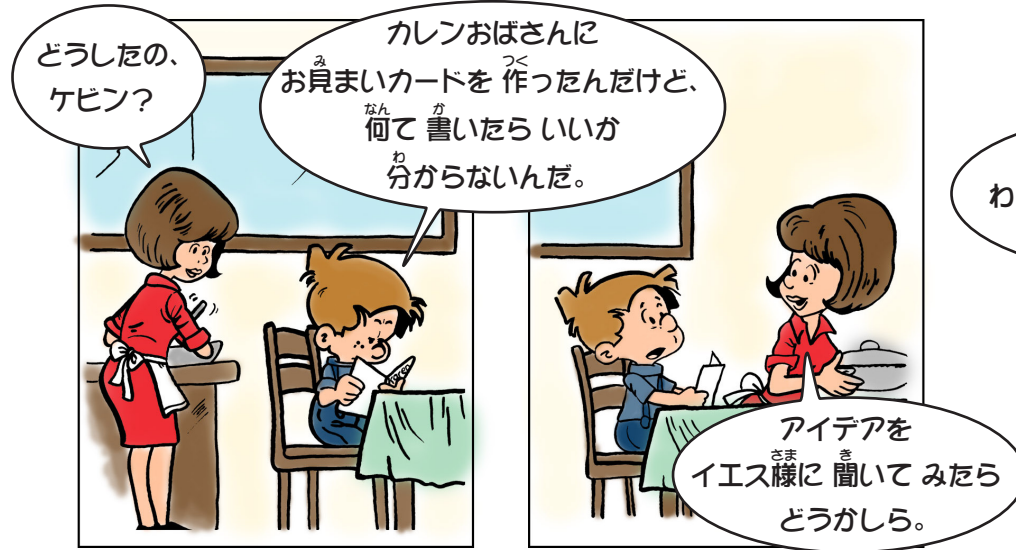
ああーっ！
^{たす}助 ^けて！

ウーン！
い ^たい ^{よう}！

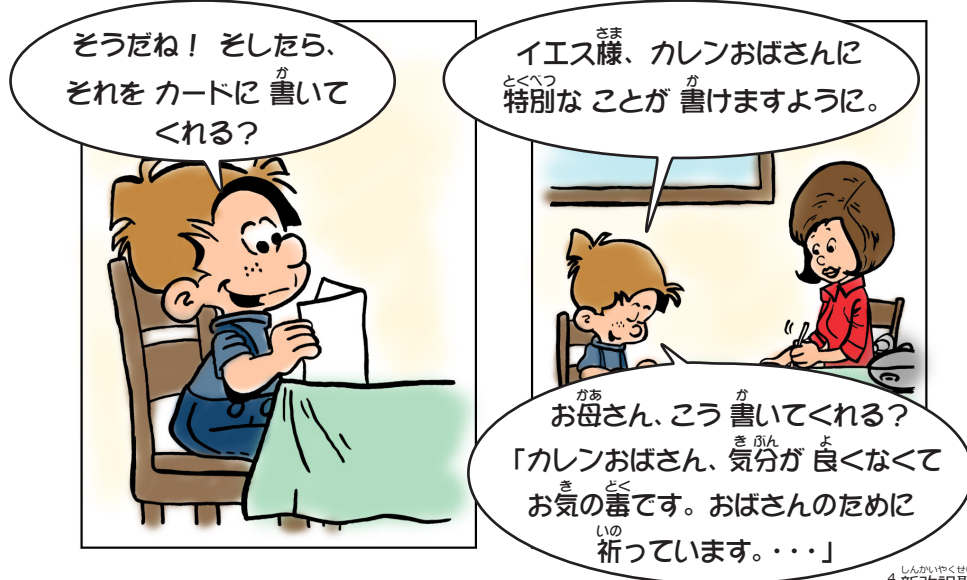
^{さま}イエス様、^{いた}み ^をと
取 ^り去 ^って ^くだ ^さい。
^{つぎ}次は ^もっと ^き気を ^つ付け ^られ
ま ^す ^{よう}に。

いの 祈りは、必要な 答えや 解決策を もたらす。

わたし ねが こと かみ き
「私たちの 願う 事を 神が 聞いて くださると 知れば、
かみ ねが こと
神に 願った その 事は、すでに かなえられたと 知るのです。」⁴



なにか 困った ことが あったら、いの 祈って イエス様に 助けて もらいましょう。
イエス様に 話すと まよいが 消え、答えが 受け取れます。



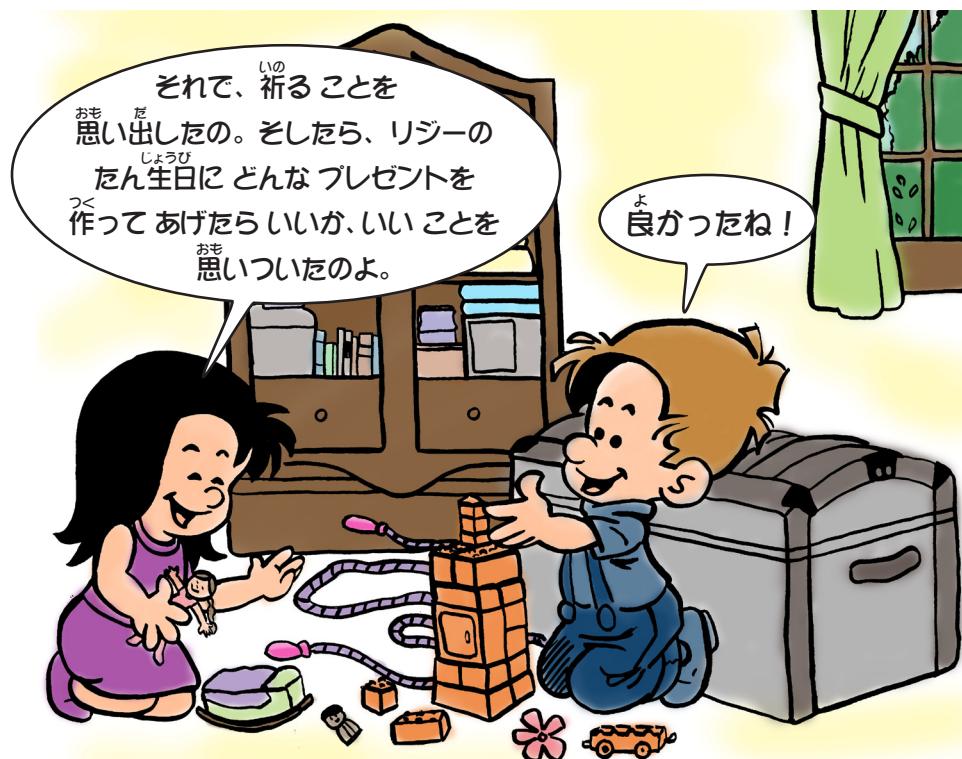
なに している 時でも、いの 祈りを 生活の 一部に することが できます。
イエス様に 話しかけ、している ことに 加わって もらいましょう。
聖書にも、こう 書いて あります。「たえず 祈りなさい。」⁵
イエス様に、している すべての ことに 加わって もらうのです。



⁴ 新改訳聖書、ヨハネの手紙 第一 5:15

⁵ 口語訳聖書、テサロニケ人への 第一の手紙 5:17

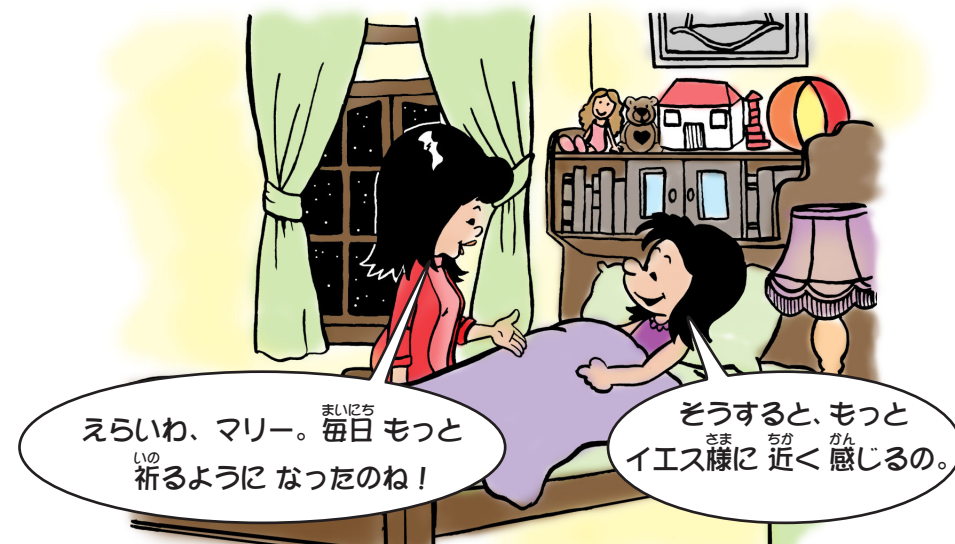
聖書には、こう書かれています。「すべての祈りと願いを用いて、どんなときにもみ霊によって祈りなさい。そのためにはたえず目をさましていて、すべての聖徒のために、にんたいの限りをつくし、また祈りなさい。」⁶



祈れば祈るほど、祈る習慣が身に着きます。習慣になるとは、それが自然なことになる、人に言われなくても、苦労せずに思い出してふつうに祈れるようになるということです。祈りを通してイエス様と話すことを毎日の一部にすると、イエス様の近くにいられるようになります。つまり、いつもイエス様のことを思っていて、必要な時には助けてもらえるということです。

「神よ、われらはあなたに感謝します。われらは感謝します。われらはあなたの名をよび、あなたのくすしみわざを語ります。」(口語訳聖書、詩篇 75:1)

祈りを通して、必要なものや、心配事、気がかりなことを神様のみにあずけ、神様が答えてくださると信頼すると、信仰は育ちます。このことを思い出しましょう。「何事も思いわずらってはならない。ただ、事ごとに、感謝をもって祈りと願いとをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。」⁷



祈る時には、神様に感謝することも、覚えていましょう。祈って必要なものを求めるだけではなく、感謝もわすれないようにしましょう。感謝の気持ちで祈り始めると、神様があなたにくださっている良いものや祝福を思い出せますよ。

6 新改訳聖書、
エペソ人への手紙
6:18
7 口語訳聖書、
ピリピ人への手紙
4:6